

競技注意事項

- 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。
- 招集について（招集所は第4ゲート、100mスタート地点避難タワー下）
 - 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、チェックを受ける。その後、役員の誘導に従い競技場に入場する。
 - 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
投てき競技	競技開始40分前	競技開始30分前
跳躍競技	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

※競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、招集を受けること。

- 招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。（但し、他種目に出場中は代理でも可）
 - リレーのオーダー用紙は当該種目、第1組目の招集完了時刻1時間前（競技開始時刻80分前）までに、競技者係に提出すること。オーダー用紙は招集所に準備する。
 - 2種目を同時にかねて出場する競技者は、2種目同時届を競技者係に提出すること。
- 番組編成について（レーン順・試技順）
トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。

- トラック競技について
 - スターターの合図は英語とし、一度の不正スタートでも、責任を有する競技者は失格させられる。
 - 予選の結果に基づき、上位8名が決勝へ進出、9位から16位に入った選手がTRに出場する。
- アスリートビブスについて
 - アスリートビブスの番号は、2026年度の日本陸連登録番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。トラック競技の腰ナンバーカードは主催者が準備する。
 - 跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。
- 競技場は全天候舗装である。また、競技用靴についてはシューズに関する競技規則を適用する。
- 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表の通りとする。

種目・区分		種別	練習	試技							
走高跳	男子	共通	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以降 3cm ずつ
	女子	共通	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降 3cm ずつ
棒高跳	男子	共通	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	以降 10cm ずつ

- 走り幅、三段跳については、本競技場内でのフリー練習は実施せず、公式練習のみとする。練習が必要な選手は、第2競技場または屋内練習場で事前に練習を行う。
- 三段跳の踏切板は、男子9m、女子7mで1ピットとする。
- ハードル競技のインターバルについて

性別	種目	ハードルの高さ	インターバル			ハードル台数
			スタートから1台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	
男子	2年 110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	1年 100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	2年 100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	1年 80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

- 練習会場は、第2競技場、屋内練習場とする。
- 使用器具は、競技場備え付けのものを使用すること。
- 投てき物の重量は、男子の砲丸は5.0kg、女子の砲丸は2.72kgとする。
- 投てき種目の練習場について
 - 円盤投げのみ14時から現地練習とする。
 - その他の投てき種目については、第2競技場奥の投てき練習場で指定された時間内に行うこととし、1日目は8時30分から12時20分、2日目は8時30分から11時20分のみ使用可とする。
- リレーのユニホームはチームで統一すること。ただし、デザイン、配色が同一であれば問題はない。
- その他
 - 表彰は、各種目3位まで行う。（決勝種目の後は、役員が誘導するので従う。）
 - 競技会終了後、閉会式を行う。
 - 更衣室は、待機場所として使用しないこと。使用時は更衣を速やかに行い退出すること。
 - 競技結果等については、宮崎県中学校体育連盟陸上競技専門部 Mobile サイト（MzcLIVE 速報室 <https://mzc.meet7.org/live/index.html>）に掲載する。また、競技場1F（正面玄関前）にも掲示する。